



September 2007

内閣府だより



推進室立ち上げ

内閣府沖縄担当部局では、「アジア青年の家」構想について、来年夏の実施に向け、準備を進めているところです。この構想は、去る6月に閣議決定された「イノベーション25」の提言を受けたものであり、アジア、沖縄、本土の若者を沖縄に集め、約1ヶ月間、共同で生活をしながら、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有しやすい「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を

内閣府沖縄担当部局では、「アジア青年の家」構想について、来年夏の実施に向け、準備を進めているところです。この構想は、去る6月に閣議決定された「イノベーション25」の提言を受けたものであり、アジア、沖縄、本土の若者を沖縄に集め、約1ヶ月間、共同で生活をしながら、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有しやすい「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を

LETTER

「アジア青年の家」構想について

URL▶<http://www8.cao.go.jp/okinawa/seinen.index.html>

この構想を進めるにあたっての基本的な考え方については、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」を開催し、有識者の方々に議論していただきました。今般、その報告書として『「アジア青年の家』構想について』推進にあたっての基本的な考え方』を取りまとめたところです。ここでは、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有しやすい「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を

この構想を進めるにあたっての基本的な考え方については、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」を開催し、有識者の方々に議論していただきました。今般、その報告書として『「アジア青年の家』構想について』推進にあたっての基本的な考え方』を取りまとめたところです。ここでは、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有しやすい「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を

この構想を進めるにあたっての基本的な考え方については、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」を開催し、有識者の方々に議論していただきました。今般、その報告書として『「アジア青年の家』構想について』推進にあたっての基本的な考え方』を取りまとめたところです。ここでは、構想の柱として、共生の精神の育成を据えており、そのために、文化、慣習、宗教の異なる若者同士がグループを組み、日常生活からものづくりやスポーツなどの共同作業や活発な議論を行うことや、問題意識を共有しやすい「持続可能な発展」をテーマとすること等が提案されています。また、当面は、中学生、高校生を



委員の方々

「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」委員

有馬朗人 元東京大学総長

池上清子 国連人口基金東京事務所長

稻嶺惠一 前沖縄県知事

座長 黒川清 内閣特別顧問

渋谷英章 東京学芸大学教育学部教授

モンテ・カセム 立命館アジア太平洋大学学長

敬称略、50音順